



一関遊水地事業マネジメント委員会開催



▲あいぽーとで意見交換の様子

平成27年2月9日(月)に、第5回一関遊水地事業マネジメント委員会(委員長:岩手大学工学部准教授 小笠原敏記氏)が開催されました。これは、一関遊水地事業の実施状況及び進捗状況等について第三者の意見を求めることで、事業の施工の合理化や今後の事業展開の方策について一層の充実を図るために平成23年に設置され、毎年開催されています。今回は完成した磐井川の堤防や第一遊水地内に建設中の大林水門の現場などを視察後、学習交流館あいぽーとで意見交換が行われました。



▲磐井川五代地区堤防視察の様子



▲磐井川青葉地区堤防視察の様子



▲大林水門工事現場視察の様子

一関管内に飛来する冬鳥



▲オオハクチョウやコハクチョウ



▲マガン

一関出張所管内の磐井川や北上川、一関遊水地で様々な渡り鳥の飛来が確認されています。特に多く見られるのがオオハクチョウ・コハクチョウ・マガンなどですがこの群れに混じってアメリカコハクチョウや絶滅危惧種 IA類に指定されているシジュウカラガンがみられました。

冬鳥の姿は、3月末頃まで見られます。興味のある方は散策してはいかがでしょうか。



▲遊水地内でシジュウカラガンを7羽確認

◀アメリカコハクチョウ コハクチョウに比べとくちばしの黄色が小さく見えます

絶滅危惧種 IA類とは、ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いものとされているんだよ。



◆◆編集後記◆◆ 立春を過ぎてもまだまだ寒い日が続いていますが、だんだん日が長くなっている感じがします。日が長くなるのに合わせて、早く春の足音も聞こえてきて欲しいですね。(え)